

令和５年度 緊急自然災害防止対策事業 七瀬・西江部地区浸水対策 調査検討業務委託 仕様書

1. 業務の目的

中野市七瀬地区及び西江部地区を流れる水路において、豪雨時に浸水被害が発生している。
中野市総合浸水対策計画内においても浸水被害箇所として認識されているが、その原因は不明確である。

そのため、本業務では、それら溢水原因を調査し把握するとともに、対策手法、浸水防止のための検討することを目的とする。

2. 作業内容

2.1 基礎調査

本検討を実施するにあたって必要な情報を収集・整理する。

- 中野市総合浸水対策計画（令和５年３月）
- 中野市降雨強度式・確率年
- その他必要な情報

2.2 現地調査

溢水被害が発生している水路網を整理するための現地調査を実施する。本業務では測量調査を実施しないことから、現地調査において現地の水路断面について把握する。

2.3 現況水路整理・計画検討

(1) 既設主要水路の流下能力の把握

現地調査において確認した既設主要水路の集水面積を整理し、マンニング式等を用いた等速等流の流量計算を行い、流下能力の過不足を把握する。

なお、流量計算に用いる地盤高については、道路台帳等のデータを活用して実施する。

(2) 浸水原因の把握

前項で整理した流量計算の結果や現地調査の結果に基づいて、浸水原因を把握する。

(3) 対策施設の検討

把握した浸水原因を解消するための対策施設の検討を行う。なお、部分的水路改修にて溢水被害が解消する場合を除き、流域における浸透施設の設置による対策を最優先とし、それでも不足する場合は流域内水路の改修等の対策を講じるものとする。

2.4 段階的建設計画の立案

前項で整理した対策施設を実施するための概算事業費を算定するとともに、段階的な建設計画を立案する。

2.5 提出図書の作成

以上を取りまとめた報告書を作成する。

2.6 設計協議

業務を遂行するために必要な協議を実施する（初回、中間 2 回、最終）。